

## 抗RSウイルスヒトモノクローナル抗体製剤 ニルセビマブ(Nirsevimab)

ニルセビマブは、RSウイルス(Respiratory Syncytial Virus)感染による重症化を防ぐための予防薬です。2024年5月から基礎疾患のない乳幼児に接種可能な抗RSウイルス薬として日本でも発売されていますが、このたび、タイでも認可され、サミティベート病院スクンビットでは他院に先駆けて取り扱いが始まっています。2025年3月31日までは割引キャンペーンを実施しますのでご案内します。

### 赤ちゃんがRSウイルスに感染するとどうなるの？

RSウイルスは赤ちゃんにとって身近なウイルスで、ほぼ全ての乳幼児が2歳までに感染することが報告されていますが、特に生後6か月までの赤ちゃんがかかると基礎疾患の有無にかかわらず重症化しやすく、合併症として肺炎、無呼吸、急性脳症、後遺症として反復性喘息(気管支喘息)などを引き起こすことがあり、予防が大切な疾患です。

### この予防薬の効果について教えてください

ニルセビマブは、RSウイルスが体の中で増えるのを防ぎ、感染しても重症化しにくくする効果があります。1回の接種で約5か月間効果が持続するため、RSウイルスが流行するシーズンに合わせて予防できます。

#### 乳児に対する効果：

- RSウイルスへの感染リスク 79.5%減少
- RSウイルスによる入院リスク 83.2%減少
- ICUでの人工呼吸器使用 75.3%減少
- 1回の接種で約5か月間予防

### 他に特徴はありますか？

普通のワクチンは、体の中で抗体を作るのに数週間かかることがあります。でも、ニルセビマブは「すでにできあがった抗体を直接注射する」タイプの予防薬で、接種するとすぐにRSウイルスを予防しはじめるのも特徴です。

### タイではいつ頃の接種が望ましいのでしょうか？

タイでは6月～10月の雨季にRSVが流行します。タイ小児科学会ではその前に接種を開始することを推奨しています。なお、流行している季節に生まれた赤ちゃんには、出生後できるだけ早くの接種が推奨されています。

### 接種が勧められるのは？

タイ小児科学会のガイドラインでは下記のように推奨しています。

流行シーズン	対象者	推奨レベル
生後初めてのRSウイルス流行期	健康な赤ちゃん(8か月未満)	推奨
	重症RSV感染リスクの高い*赤ちゃん(12か月未満)	推奨
	健康な赤ちゃん(8～12か月)	個別に接種を検討
2回目のRSウイルス流行期	19か月未満で重症RSV感染リスクがある子ども	推奨
	19～24か月で重症RSV感染リスクがある子ども	個別に接種を検討

※2歳未満までが接種対象です

※妊娠中にお母さんがRSVワクチン(アブリスボ)を接種した場合には赤ちゃんの接種が不要なことがあります必ず医師にお伝え下さい。

\*

- 早産による慢性肺疾患(ステロイド、利尿薬、酸素療法を6か月以内に受けている場合)
- 重度の免疫不全
- 重症の嚢胞性線維症(Cystic Fibrosis)
- 血行動態的に重大な先天性心疾患(CHD)を持つ場合

### 接種方法は？

0歳台のお子さんは、1箇所、1歳台のお子さんは、2箇所に筋肉注射します。

### 副反応は？

ニルセビマブは、多くの赤ちゃんに安全に使用されていますが、よくある副反応は下記です。

- 注射した部分の腫れや赤み
- 一時的な発熱
- 不機嫌やぐずり

注射後にいつもと様子が違う、ぐったりしている、呼吸が苦しそうななどの症状が出た場合は、すぐに医療機関を受診しましょう。

#### 他のワクチンと同じ日に接種はできますか？

接種する部位が別であれば他の生ワクチン(小児定期接種ワクチン)と同時に接種することができます。

#### 接種ができない人はどんな人？

ニルセビマブまたはその成分(アルギニンやヒスチジンなど)に対して過去にアレルギー反応を起こしたことのあるお子さんは、ニルセビマブの接種をお控えください。また、お母さんが妊娠中にRS 母子免疫ワクチンを接種している場合は、出生直後の乳児に抗体薬を重複して投与することの副作用は明らかになっておらず、原則的に投与は行いません。

期間限定価格: 本日から2025年3月31日まで

(購入前に医師による診察が必須? 必要? です。事前の予約と医師の診察を受けた方のみ下記の金額が適応されます。)

ニルセビマブ(Nirsevimab)	期間限定価格 (THB)
0-12 か月	17,490 <del>24,100</del>
12-24 か月	34,200 <del>48,200</del>

医師診察費、医療器具、病院施設料が別途かかります／費用は変更されることがあります。

※上記割引費用は、2025年3月31日までに診察、薬剤購入をした方向けです。実際の接種は雨季でRS ウイルスの流行がはじまる直前の2025年5月頃をおすすめします。

RS ウイルスは、毎年流行し、多くの赤ちゃんがかかる感染症です。重症化を防ぐためにも、医師と相談しながら、適切なタイミングで予防を行いましょう。